


【岐阜女子大学】メタデータ項目と記述内容

	メタデータ項目	メタデータ記述欄
1	ID	
2	表題名	沖縄の怖い話
3	資料名	『ミミチリボウジ』／中城御殿跡
4	内容分類	郷土・歴史
5	索引語	沖縄、首里、怖い話、中城御殿、大村御殿、耳切坊主
6	説明	<p>■中城御殿（大村御殿）とは</p> <p>「中城御殿」は琉球の王世子のための宮殿として建てられた邸宅であった。王世子は伝統的に中城間切（中城村〔沖縄中部〕）の統治が任されていたことから中城王子とよばれており、それに由来する。大村御殿ともいわれる。</p> <p>*間切・・・琉球王国時代および明治時代の沖縄県の行政区分のひとつ。</p> <p>■配置と設計</p> <p>敷地は3000坪余り、建物は別棟を除いて800余りである。</p> <p>殿の主要建物20数棟は連結して群立し、男性だけの表御殿と女性だけの奥御殿に分かれ、その接点の鈴引で取次ぎがなされた。</p> <p>表御殿は大広間のある殿を中心に主殿造りに配され、内部は書院造り。それに連結して政庁の役目をする前之御座と取納座殿、御蔵などがあつた。三司官の一人が中城御殿紫官大親を兼ね、その下に大親以下46人が任ぜられ、さらに下代、門番などがいた。</p> <p>奥御殿は、最大の建物である寝廟殿を中心に、寝殿造りを思わせるコの字型に主要殿を配し、回りにいくつかの建物を連結。殿の内部構造は平安・鎌倉期の御所造りに似ている。女官から下女に至るまで数十人の婦女子が仕えた。明治以降大幅な人員削減が行われ、合わせて80人が仕えていて王国時代の習慣や祭事が継承されていたといわれている。中城御殿の奥にある幅広い丘になったエリアには、中国様式の庭園があつたとされている。</p> <p>■中城御殿の歴史</p> <p>中城御殿は尚豊王代(1621～40年)に創建され、二百数十年間、世子殿であつた。1875年に世子殿が龍潭の北側(旧県立博物館敷地)に移転すると、跡地は「下の薬園(シムヌヤクエン)」となつた。</p> <p>1879年の沖縄県設置後、1891年に沖縄尋常中学校(後の県立第一中学校)が置かれた。沖縄戦で建物内に保管された大事な宝物とともに重要な資料も散逸しまった。沖縄戦後は首里高等学校の校地となつた。元々の建造物のうち、残つたのは井戸が1つと、周辺の大きな石垣だけだったが、中城御殿に関する資料や写真は多く残っている。その場所には1966年に沖縄県立博物館・美術館が建てられたが、2008年に解体され、現在は重要な発掘作業が進められている。</p>
7	形式	静止画(jpg)

8	氏名	撮影者：高見鈴乃
9	時代・年	撮影日：2023/09/16
10	地域・場所	沖縄県那覇市首里大中町1丁目
11	利用条件	表示 4.0 国際(CC BY 4.0)
12	関連資料1	なし
13	権利者	岐阜女子大学
14	協力者	なし
15	登録日	2023/11/03
16	登録者	高見鈴乃
17	ファクトデータ	 <p>circd0848-0010. jpg</p>
18	* 特色	<p>【中城御殿にまつわる怖い話『耳ちりぼーじ』】</p> <p>琉球王朝時代に首里に黒金座主（くるがにぎーし）という僧がいた。その僧が怪しい術を使って女性をたぶらかし襲っているという事に怒った琉球王は北谷王子に彼の殺害を命じた。</p> <p>北谷王子は黒金座主に囲碁の対局を持ちかけ、黒金座主は両耳を、北谷王子は鬚をそれぞれ賭けた。黒金座主が怪しい術で北谷王子を眠らせようとしたところを逆に北谷王子が黒金座主の両耳を切り落として殺した。</p> <p>その後、<u>黒金座主は幽霊となって北谷王子の住む大村御殿を囲う石壁の角に夜な夜な現れた</u>。またそれ以来、大村御殿には男の子が生まれるとすぐ死ぬとう事が続きどちらが生まれても「ウフーイナグ（大きな女の子）の生まれたんどオ」と唄う風習ができたという。</p> <p>* 諸説あり</p> <p>【わらべ歌「耳ちりぼーじ」】</p> <p>大村御殿（うふむらうどん）の 角（かどう）なかい～ 耳切坊主（みみちりぼうじ）が 立っちょんど</p>

		<p>幾体、いくたい 立っちょが～ヤ みっちやい（三体）、よったい（四体）立っちょんど 鎌も小刀も持っちょんど 泣いちよる 童（わらべ） 耳ぐすぐす へイヨ～へイヨ～ 泣～くなよ （意味） 村長の居る屋敷、大村御殿の角々に 耳切り坊主の幽霊がいくつ立っているのでしょうか？ 三人も四人も立っているよ 鎌も小刀ももっているよ 泣く子の耳は、グス、グスッと音を立てて切られるよ ハイヨ、ハイヨ、泣くなよ</p>
19	*活用支援	
20	*利用分野	
21	*改善結果	
22	*処理プロセス	
23	*関連資料2	